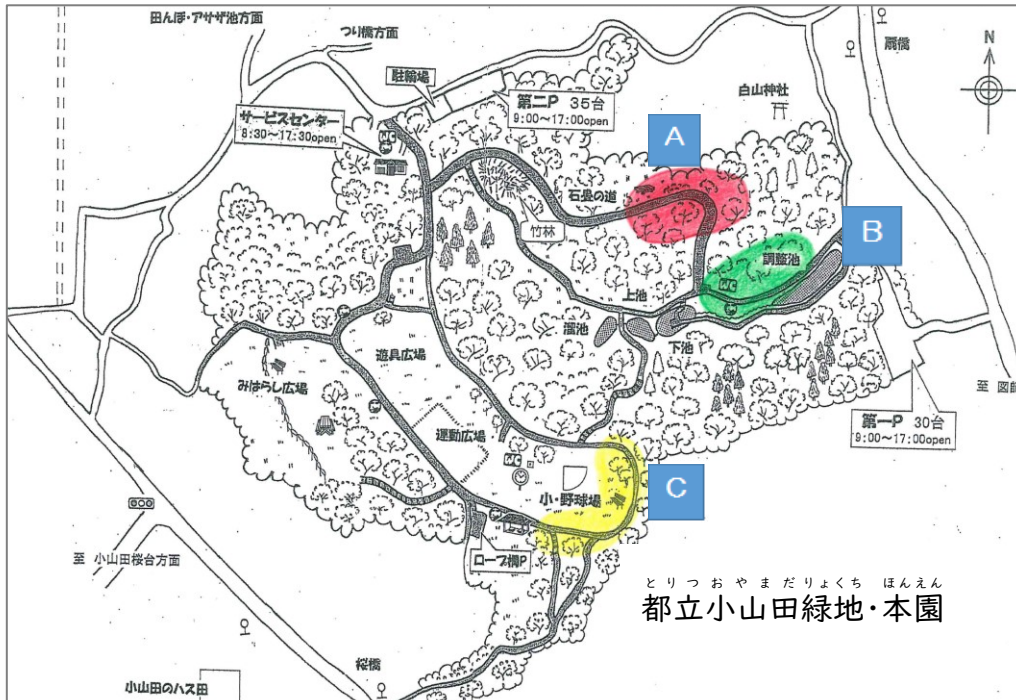


## 2023年 セミのぬけがら調査結果

まちだエコライフ推進公社では今年も都立小山田緑地でセミのぬけがら調査をおこないました。緑地内の本園でこの夏3回の調査をおこない、集めたぬけがらの数は合計 421個でした。2020年以降ぬけがらの数は500個前後で推移していますが、2023年は2016年からの調査で最も少ない数でした。ぬけがらの数が少なかった要因としては、調査地での多数の枯れた木の伐採があったためと考えられます。ぬけがらの減少がこのまま続くのか、長期のモニタリングをしていく必要があります。

### 調査地について

都立小山田緑地は、町田市北西部の自然の豊かな丘陵地にあり、本園と三つの分園からなっています。セミのぬけがら調査は本園（下図）のABCの調査地でおこないました。



#### 調査地 A

昔からの里山で、一部クヌギなどの植栽がある。地面はほぼ一面下草に覆われているが、日当たりが良く、明るい場所。

#### 調査地 B

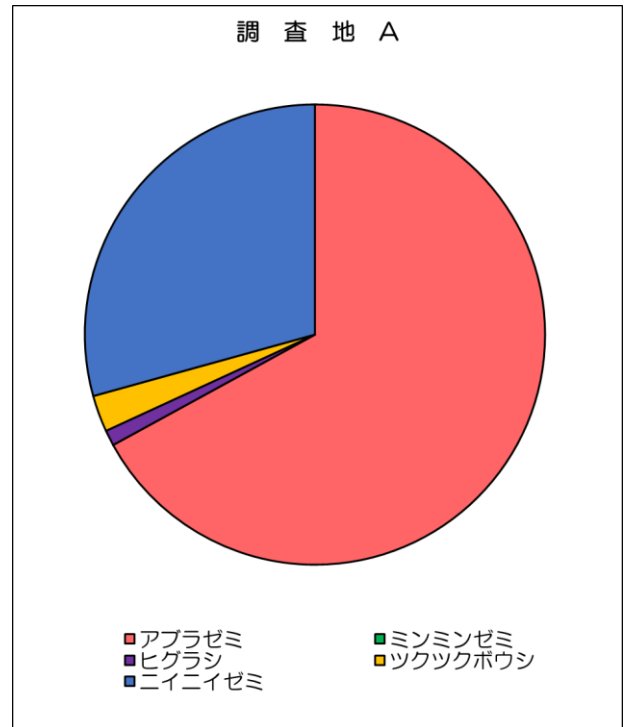
昔からの里山で、近くに池があり、全体的に湿気が多く、薄暗い。下草で覆われた部分と、地面が露出した部分がある。露出している地面は固く、コケが生えているところもある。

#### 調査地 C

昔からの里山と整備された植栽が両方ある場所。ほぼ一面下草や落ち葉に覆われているが、草が短く刈られているところと、膝丈くらいになっているところがある。

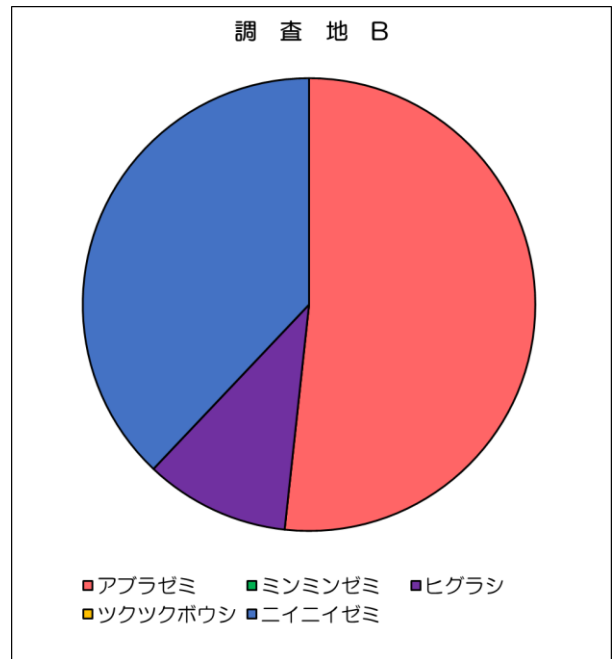
### 調査地 A の結果

種類	オス・メス	7月24日	8月8日	8月25日	計
アブラゼミ	オス	18	59	19	96
アブラゼミ	メス	1	53	30	84
アブラゼミ	不明			3	3
アブラゼミ	計	19	112	52	183
ミンミンゼミ	オス		0		0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	オス	1	1		2
ヒグラシ	メス		1	0	1
ヒグラシ	計	1	2	0	3
ツクツクボウシ	オス		2	1	3
ツクツクボウシ	メス		2	2	4
ツクツクボウシ	計	0	4	3	7
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	計	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	68	12	0	80
合計		88	130	55	273



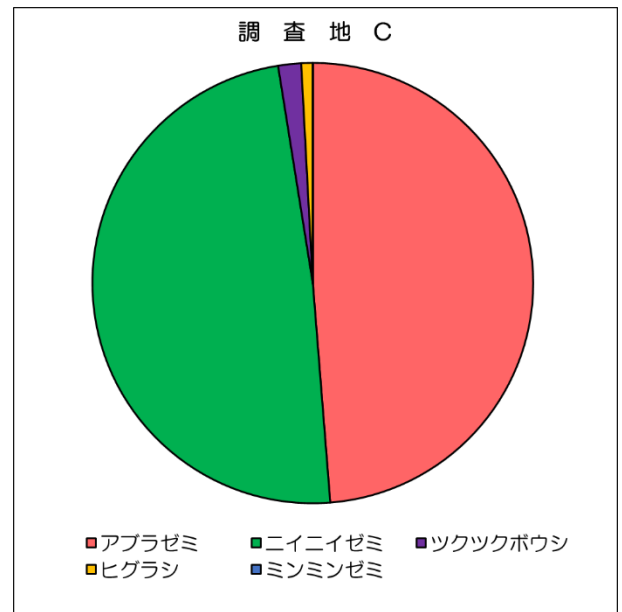
### 調査地 B の結果

種類	オス・メス	7月24日	8月8日	8月25日	計
アブラゼミ	オス	3	3	2	8
アブラゼミ	メス		2	5	7
アブラゼミ	計	3	5	7	15
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	計				0
ヒグラシ	オス	1	1		2
ヒグラシ	メス	1			1
ヒグラシ	計	2	1	0	3
ツクツクボウシ	オス			0	0
ツクツクボウシ	メス			0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	計	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	9	2	0	11
合計		14	8	7	29



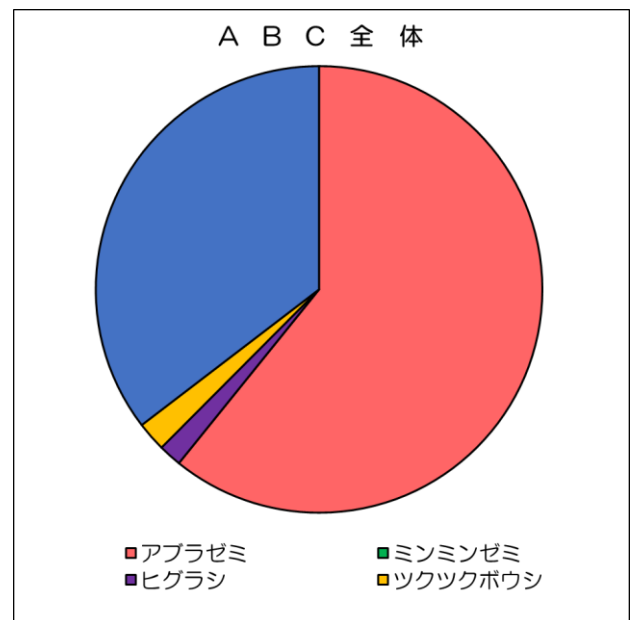
### 調査地 C の結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月24日	8月8日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	12	16	3	31
アブラゼミ	メス	0	22	5	27
アブラゼミ	けい 計	12	38	8	58
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス	1			1
ヒグラシ	けい 計	1	0	0	1
ツクツクボウシ	オス		2		2
ツクツクボウシ	メス		0		0
ツクツクボウシ	けい 計	0	2	0	2
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニゼミ	けい 計	39	18	1	58
	ごうけい 合計	52	58	9	119

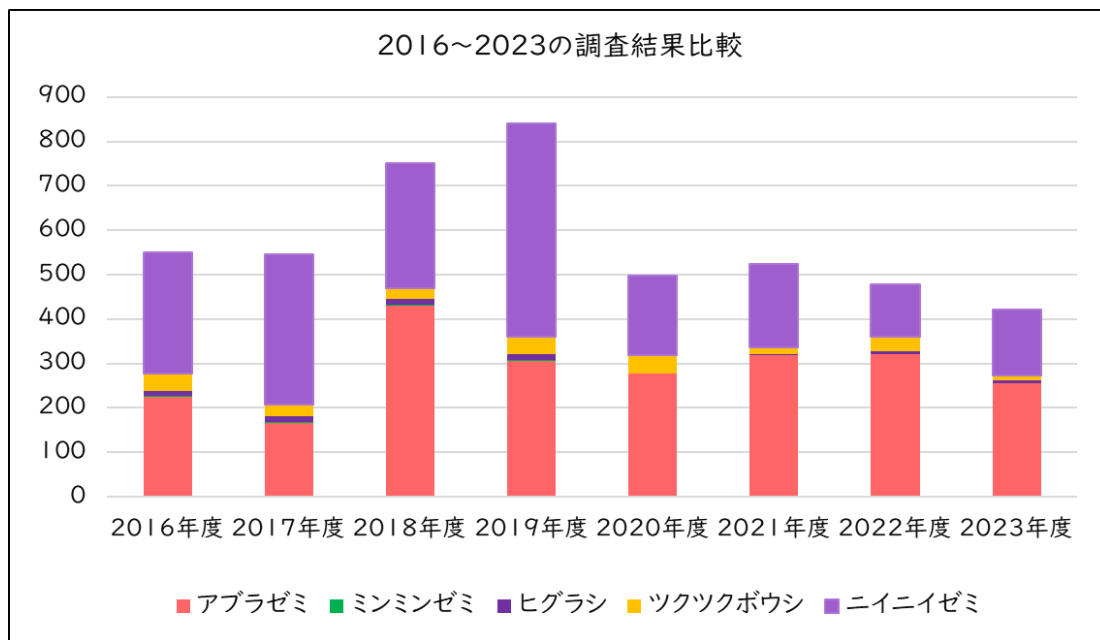


### 全体の結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月24日	8月8日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	33	78	24	135
アブラゼミ	メス	1	77	40	118
アブラゼミ	不明	0	0	3	3
アブラゼミ	けい 計	34	155	67	256
ミンミンゼミ	オス	0	0	0	0
ミンミンゼミ	メス	0	0	0	0
ミンミンゼミ	けい 計	0	0	0	0
ヒグラシ	オス	2	2	0	4
ヒグラシ	メス	2	1	0	3
ヒグラシ	けい 計	4	3	0	7
ツクツクボウシ	オス	0	4	1	5
ツクツクボウシ	メス	0	2	2	4
ツクツクボウシ	けい 計	0	6	3	9
クマゼミ	オス	0	0	0	0
クマゼミ	メス	0	0	0	0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニゼミ	けい 計	116	32	1	149
	ごうけい 合計	154	196	71	421



## 2016年～2023年の推移



	アブラゼミ	ミンミンゼミ	ヒグラシ	ツクツクボウシ	ニイニイゼミ
2016年度	226	2	11	39	272
2017年度	167	1	13	26	340
2018年度	430	2	13	24	283
2019年度	306	2	13	39	481
2020年度	277	0	1	42	177
2021年度	318	1	3	15	187
2022年度	321	1	5	34	117
2023年度	256	0	7	9	149

- ・2023年の調査で見つかったぬけがらの総数 421個で、2016年以降、最も少ない数となった。
- ・日本の平均気温は1898年以降で夏として最も高くなりました。とくに夏の初め(6月下旬)から気温が高かった。ただし、梅雨明けが平年より遅く、セミの羽化が多い7月中旬から雨の日が多かった。台風6号・7号の影響などで降雨量が多かった。雨が多いことで、羽化する時期を逃したセミが多かったのかも知れないし、ぬけがらが雨で流されてしまった可能性もある。
- ・ミンミンゼミのぬけがらは、2020年につづき見つからなかったのが2回目となる。
- ・ヒグラシのぬけがらは、2020年以降減少傾向にある。
- ・ツクツクボウシの数は調査開始以来もっとも少なく、2022年の1/4の数となった。
- ・調査地Cのあずまや近くのコナラの植栽で、2019年まではニイニイゼミのぬけがらが多く見つかったが、2020年以降はその数が減少している。コナラの植栽はナラ枯れの被害が進んでおり、そのことと関係

があるのかもしれない。その代わりかどうかは不明だが、近くのヤマボウシの木にニイニゼミのぬけがらが多くなった。

### 調査当日の様子。気がついたこと。鳴き声の聞こえたセミ。

#### 1回目(2023年7月24日 午前)

A 鳴き声はニイニゼミ中心。ミンミンゼミが1頭での鳴き声少し。

B 鳴き声は少ない。ニイニゼミが少し。伐採された樹木が多く、2016年ごろは薄暗かった場所に光が入るようになり、かなり明るく、地面が乾いている。ミンミンゼミの成虫を確認。

C 鳴き声はニイニゼミが中心。アブラゼミ・ミンミンゼミが少し。グラウンドの裏あたりは草や笹類の丈が腰～胸くらいになっており、探せないところもあった。横あずまや付近のコナラの植栽は例年ニイニゼミが多かったが、伐採されてしまい、地面の周りの穴もあまり見当たらなかった。近くのヤマボウシで抜け殻が多く見つかった。

#### 2回目(2023年8月8日 午前)

A 鳴き声 ニイニゼミ ツクツクボウシ 少しだけアブラゼミ

前夜の雨で地面が少ししっとりしている アブラゼミは柿の木、朴の木の高いところの枝の葉先についているものが多く、その分は採取できず。生垣の低木にも4個抜け殻があった。

B 草丈は膝丈くらい 草にけっこうついている 木の葉 幹の多く 地面には少ない

鳴き声はニイニ、遠くてミンミン、ときどきヒグラシ

C 声はニイニゼミとツクツクボウシが多い。草と笹の丈が大人の腰～胸くらいの高さになっていて、抜け殻を探すのが困難なところもあった。採取できた抜け殻は草についていたものが多い。

#### 3回目(2023年8月25日 午前)

A 鳴き声 ニイニゼミ、ツクツクボウシ

調査日の前々日、前日に何度か激しい雨が降ったためか細かい枝が折れて地面に散らばっているものが多かった。ぬけがらは木から離れた場所の地面に落ちているものが多く見つかった。木にはほとんどなかった。壊れてしまっていて、オスメスの判別ができないものもあった。

B 鳴き声 ツクツクボウシの鳴き声が多い。池の反対側で駐車場側の通路のほうの斜面、草丈は膝くらい。以前はぬけがらが見つかることが多かったが、今回はなし。樹木の伐採により、以前よりかなり明るくなっている。シデノキの高いところ(届かない場所)にアブラゼミの抜け殻が多かった。

C 鳴き声 少ない。ニイニゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ。アブラゼミはほとんど鳴いていない。(あずまや近くで少し聞こえた)

運動場側の木製の柵に産卵痕が多い。運動場の反対の奥の方は草丈が高く、探すのが困難だった。

参考文献 気象庁報道発表資料 2023年(令和5年)夏(6月~8月)の天候

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2309/01b/tenko230608.html>

(2024年4月18日閲覧)